

ふくしま オーガニック通信



～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～



令和5年11月17日

R5-2

福島県農業総合センター 有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉字下中道 116

TEL 024(958)1711 FAX 024(958)1730

Email:yuuki_otasuke_soudan@pref.fukushima.lg.jp

有機農業に関する理解促進講座を開催しました

農業総合センター 有機農業推進室

福島県農業総合センターでは、平成26年から県内の短大と連携して、有機農業への理解を深めるための講座を開催しています。本年は、二本松市東和地域で有機農業を営んでいる「株式会社 さんさいファーム」の関 奈央子 氏に講師を務めていただき、講義や収穫体験を行いました。

講義では、「オーガニックふくしま安達の活動内容」や「ヨーロッパにおける有機農業の取組事例」について紹介されました。

講座に参加した学生からは、「農業高校出身であり、アイガモ農法等の有機農業についての知識が多少あったため、講義内容を理解しやすかった」等の意見があり、環境保全型農業への関心がさらに高まったようでした。



関さんの講義を熱心に聴く短大生

普及コラム① 栃木県の有機水稲栽培における先進地を視察しました

農業総合センター 有機農業推進室

郡山環境保全農業研究会は、7月27日に先進地視察研修として栃木県のNPO法人 民間稲作研究所を訪問しました。

当日は会員の他、有機農業を志す生産者計16名が参加し、代表理事の館野 廣幸 氏が管理する有機栽培水田の現地視察を行い、栽培管理の方法について説明を受けました。

研修では、田植え前後の抑草技術として、水管理や腐植有機物の投入量増加による雑草種子発芽の抑制等について学び、参加者は真剣な面持ちで館野氏の話に聞き入っていました。



有機水稲ほ場で説明する館野さん（左端）

普及コラム② 『米の有機栽培に取り組む「合同会社さとうさんち」を紹介します。』

相双農林事務所 双葉農業普及所

佐藤昌治さん美智子さんご夫妻は、平成24年4月から相馬市の実家を継ぎ、化学農薬化学肥料をなるべく使用しない米づくりを始めました。

その後、地域の有機農業者と出会い有機栽培に取り組みを始め、有機農業組織にも所属しました。

娘さんの渡邊昌美さんも本格的に営農に参画し、令和5年4月には昌美さんを代表とする「合同会社さとうさんち」を立ち上げ、食育や有機農産物 PR 活動にも積極的に取り組んでいます。

米の収量・品質も徐々に高まり、全国にお米を販売しています。現在、有機 JAS 認証の取得を進めながら、令和6年には有機栽培面積の拡大も計画しています。「子供達が安心して食べられるお米を作り続けたいと思います。」と、昌美さんは意気込みを語られています。



代表の渡邊昌美さんと「さとうさんちのロゴ」

普及コラム③ 『野菜の有機栽培に取り組む昊（そら）ファームを紹介します。』

相双農林事務所 双葉農業普及所

中島武さんみどりさんご夫妻は、主に檜葉町の太平洋を望む畑で野菜や果樹の有機栽培に取り組んでいます。

武さんは定年退職後に循環型農業の有機栽培に取り組むことを目標に、令和元年から本格的に農業に従事しました。

令和3年からは自家製肥料を使用した有機栽培を開始し、今年度は約30品目を道の駅やスーパーの地場コーナーに出荷しています。

有機 JAS 認証取得も進めていますが、既に認証を受けた檜葉町の仲間の存在も励みになったそうです。

今後の目標として、「有機栽培に適した品目を選び、安定した生産ができるように栽培技術を高めて、安全安心でおいしい有機農産物を多くの消費者に提供していきたいです。」と話されています。



中島 武さん



昊ファームの野菜

普及コラム④

～有機農産物の宅配事業を続けて20年！～『NPO法人会津自然塾』を紹介します！！

会津農林事務所 農業振興普及部

「NPO法人会津自然塾」の理事長である鹿野義治さんは、消費者の食の安全・安心や農村環境の保全に対する社会的なニーズの高まりから、平成14年に仲間とともに無農薬・無化学肥料で栽培した農産物の宅配事業を開始しました。

平成19年に福島県の有機JAS認証を取得し、「有機農産物」として消費者へ宅配便を届ける時には、「農産物宅配便だより」を同梱し、生産者やほ場の様子を紹介しています。また、宅配便のお客様を招いて収穫祭を開催するなど、生産者と消費者の相互理解を深める活動に積極的に取り組んできました。

20周年を迎え、有機農業を志す生産者はもちろん、有機農業を応援したいと考える消費者が多数会員となり、現在ではその数は70名を超えました。「有機農業で地域興し、農業は地球を救う」のスローガンのもと、地域づくりや自然とともに生きる活動がさらに拡大することが期待されます。



NPO法人会津自然塾のメンバー

『米の有機JAS栽培農家を巡る見学ツアー』を開催しました！

環境保全農業課

福島県産有機栽培米の販路拡大を目的として、令和5年10月28日に県内水稻農家の生産ほ場を見学する「(第1回)米の有機JAS栽培農家を巡る見学ツアー」を開催しました。当日は、首都圏の米穀事業者等7事業者11名が参加し、県内の2生産者を訪問して有機栽培米の特長や魅力について説明を受けたほか、事業者と生産者との商談会も実施しました。

なお、第2回は12月初旬に開催を予定しています。本ツアーをきっかけに、県内有機農産物の更なる販路拡大に向けて支援してまいります。



見学ツアーの様子

『オーガニックふくしまマルシェ2023』を開催しました！

環境保全農業課

令和5年9月9日（土）にイオンタウン郡山を会場に、「オーガニックふくしまマルシェ2023」を開催しました。天候に恵まれ、大盛況のイベントとなりました。

当日は、感染症対策を行った上で、11団体が出展しました。ミニトマトなどの有機農産物や有機加工品を販売し、中には、有機栽培シイタケ・キクラゲの摘み取り体験を行うなど工夫を凝らしたブースもありました。また、有機農産物等を購入した方やブースを見学した方を対象に、有機農産物や加工品などが当たる抽選会も実施しました。

来場者は主婦や子供連れの方が多く、「有機農産物を知るきっかけになった」、「今後も有機農産物を購入してみたい」との声が多く寄せられるなど、「環境にやさしい」、「安全・安心」など県内各地のこだわりの有機農産物にふれる良い機会となりました。

県では、有機農業の取組が拡大するよう、有機農業の理解促進及び有機農産物の消費拡大に向けた取組を進めてまいります。



オーガニックふくしまマルシェ2023の会場の様子

東京で『ふくしまオーガニックフェア』を開催しました！

環境保全農業課

令和5年9月11日（月）～15日（金）および20日（水）～27日（水）に、東京都内飲食2店舗（BIRD BATH&KIOSK、四ッ谷 haraku-chi）において、ふくしまオーガニックフェアを開催しました。

フェアでは、「有機栽培野菜を使ったタコライス」や「有機栽培きのこ、野菜を使ったアヒージョ」など、県産有機農産物をふんだんに使った特別メニューを販売するとともに、有機栽培野菜の店頭販売も実施しました。

店舗にはランチを楽しむビジネスマンや、地元

消費者などが来店し、「有機農産物を使っていて安心できる」という理由で購入する方や、「近くに有機食品を取り扱う店舗が無く、購入できて良い」との声も多く、大変好評でした。

協力いただいた店舗からも、「福島県産有機農産物は品質・味・見た目がよく、自信をもって販売できた」などの声が寄せられました。

引き続き、有機農業の販路開拓・拡大に向けた取組を進めてまいります。



ふくしまオーガニックフェアの様子

〈お知らせ〉

「令和5年度環境にやさしい農業拡大推進事業」及び

「令和5年度ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業」について

環境保全農業課

1 令和5年度環境にやさしい農業拡大推進事業

有機JAS認証等の取得や生産安定・生産拡大に必要な施設・機械の導入を支援します。

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/yuuki-keikaku-04.html>

(1) 有機JAS認証等拡大推進事業

有機JAS認証等の新規認証又は継続認証に要する費用を支援します。

- 【補助率】
- ①有機JAS認証取得（新規）：3／4以内
 - ②有機JAS認証取得（継続）：1／2以内
 - ③福島県特別栽培農産物認証取得（新規）
：3／4以内
 - ④有機JAS小分認証の新規取得に必要な施設の整備
：1／2以内（上限200万円）
 - ⑤有機JAS小分認証（新規）：定額（上限30万円）

2 令和5年度ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業

有機農業による就農者の確保及び就農支援活動、有機農業の実践的な研修体制の整備等を支援します。

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/yuuki-hitodukuri-01.html>

(1) チャレンジふくしま有機農業推進事業

有機農業の組織等が実施する有機農業の新たな担い手確保及び就農支援活動等に要する費用を支援します。

- 【事業主体】有機農業者が構成する組織、市町村、団体等
【補助率】2／3以内（上限額100万円）

(2) チャレンジふくしま有機農業就農研修支援事業

就農研修者を受入れる農家が、有機農業の実践的な研修を実施するために必要な整備及び運営経費を支援します。

- 【事業主体】有機農業者が構成する組織及びこれに属する農業者、市町村、団体等
【補助率】2／3以内（上限額200万円）

詳細については、下記の農林事務所等へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

県北農林事務所	: 024 - 521 - 2604	県中農林事務所	: 024 - 935 - 1307
県南農林事務所	: 0248 - 23 - 1555	会津農林事務所	: 0242 - 29 - 5302
南会津農林事務所	: 0241 - 62 - 5253	相双農林事務所	: 0244 - 26 - 1147
いわき農林事務所	: 0246 - 24 - 6160		
農業総合センター有機農業推進室	: 024 - 958 - 1711		
農林水産部環境保全農業課	: 024 - 521 - 7453		

「ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業」の二次元コード↓



事業の詳細については、こちらの
二次元バーコードよりアクセス
願います。



↑「環境にやさしい農業拡大推進事業」の二次元コード



★ チャンネル登録 よろしくお願ひします〜♪ ☆